

主要事業評価シート(第2次実施計画/R1・2・3年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	建設部	
	17024	橋梁耐震化補強事業	課名	土木課 道路整備G	
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上	財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	06:安全・安心なまちづくりの推進		款	08:土木費
	施策の方向	04:災害に強いまちづくりの推進		項	02:道路橋梁費
戦略プロジェクト	02:「安全カジャンプアップ」プロジェクト	目		07:橋梁整備費	
事業予定期間	H 16 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等	道路法・道路構造令・道路橋示方書		

② 目的・概要	対象	市民、道路利用者
	目的	発生が懸念される南海トラフ地震等の地震災害の発生に備え、市が管理する橋梁を対象とした耐震補強を行い、市民及び道路利用者の安心・安全を確保する。
概要	平成23年度に策定した橋梁耐震化補強事業計画に基づき、橋梁の耐震補強工事を計画的に実施する。	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ○耐震設計 <ul style="list-style-type: none"> ・牛谷橋 ○耐震補強工事 <ul style="list-style-type: none"> ・星田橋 ・西畑橋 ・前田橋 ・牛谷橋 		<ul style="list-style-type: none"> ○耐震設計 <ul style="list-style-type: none"> ・羽若橋 ○耐震補強工事 <ul style="list-style-type: none"> ・羽若橋 	
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ○耐震設計 <ul style="list-style-type: none"> ・牛谷橋 ○耐震工事 <ul style="list-style-type: none"> ・星田橋 ・西畑橋 ・前田橋 ・牛谷橋 	<ul style="list-style-type: none"> ○耐震工事(令和元年度明許繰越分) <ul style="list-style-type: none"> ・西畑橋 ・前田橋 ・牛谷橋 	<ul style="list-style-type: none"> ○耐震設計 <ul style="list-style-type: none"> ・羽若橋 	
事業の計画・実績	計画額	事業費	45,000千円		7,000千円
		国庫支出金	24,750千円		3,500千円
		県支出金			
		地方債	18,200千円		3,100千円
		その他			
	一般財源	2,050千円	0千円	400千円	
	予算額	事業費	53,807千円	13,910千円	2,100千円
		国庫支出金	29,594千円	7,651千円	1,003千円
		県支出金			
		地方債	21,700千円	5,600千円	900千円
		その他			
	一般財源	2,513千円	659千円	197千円	
	決算額	事業費 ①	53,723千円	13,847千円	2,079千円
		国庫支出金	29,547千円	7,616千円	1,040千円
		県支出金	21,700千円		
		地方債		5,600千円	900千円
その他					
一般財源	2,476千円	631千円	139千円		
人件費	総人件費 ②	6,279千円	4,703千円	2,371千円	
	一般職員	6,279千円	4,703千円	2,371千円	
	所要人員	0.80	0.60	0.30	
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト(①+②)		60,002千円	18,550千円	4,450千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

			令和元年度	令和2年度	令和3年度
④ 指標	①	名称 耐震補強済み橋梁数(累計)	計画値 27	30	31
		耐震補強工事が完了した橋梁数	実績値 28	30	30
		成果	単位 橋	橋	橋
	②	名称	計画値		
			実績値		
			単位		
	③	名称	計画値		
			実績値		
			単位		

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 道路メンテナンス事業を活用するには、橋梁耐震と橋梁修繕を合わせる必要性があり、事業採択されなかったため事業計画の変更が必要となった。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 事業計画を変更し社会資本整備総合交付金を活用し事業を進めた。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 設計業務については計画通りに完了したが、発注に関する手続きに時間を要したため工事は繰越となった。	B まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 施工に伴う関係機関との調整も滞りなく完了し、工事は繰り越すが令和4年度の第一四半期には完成することになり道路利用者の安全確保が図られる。	B まずまず成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 橋長15m以上の橋梁及び橋長15m未満の橋梁のうち緊急輸送道路を跨ぐ高架橋、落橋の際に孤立集落になる恐れがある橋梁を合わせた115橋において、高速道路高架橋、鉄道高架橋、通学路などの耐震化を必要とする67橋については、令和4年第一四半期までに完了するが、その他の48橋については耐震化が完了していない。	次期実施計画への方向性 <input type="checkbox"/> 継続（拡大） <input type="checkbox"/> 継続（現状維持） <input type="checkbox"/> 継続（縮小） <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】 橋梁長寿命化修繕事業に含めて行う。
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 その他48橋の耐震化については、仮設工事等のコスト縮減が図られることから、橋梁長寿命化修繕計画に合わせて同時工事として順次耐震化を進めていく。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 災害時における緊急輸送道路ネットワークや市民の避難路及び安全の確保が図られる。	
対応時期		橋梁長寿命化修繕計画に合わせて	

【1次評価者】	建設部 土木課 道路整備グループリーダー 橋本 了
【最終評価者】	建設部 土木課長 宮崎 伸二

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	B	B	B	B
	成果	A	B	B	B	B

■令和3年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		2,100 千円
内訳	令和2年度からの繰越額	0 千円
	令和3年度の最終予算額	4,000 千円
	令和4年度への繰越額	▲1,900 千円